据付説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立電気洗濯乾燥機

型式

BW-D9MV
BW-D9MV-1

もくじ

据え付けをされる方へ	●据え付け前には、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。 ●製品の機能が十分発揮されるように、この「据付説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。
お客様へ	●排水管の洗浄や転居の際に、洗濯乾燥機を移動する場合がありますので、この「据付説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保存してください。

安全上のご注意

据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⊘	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

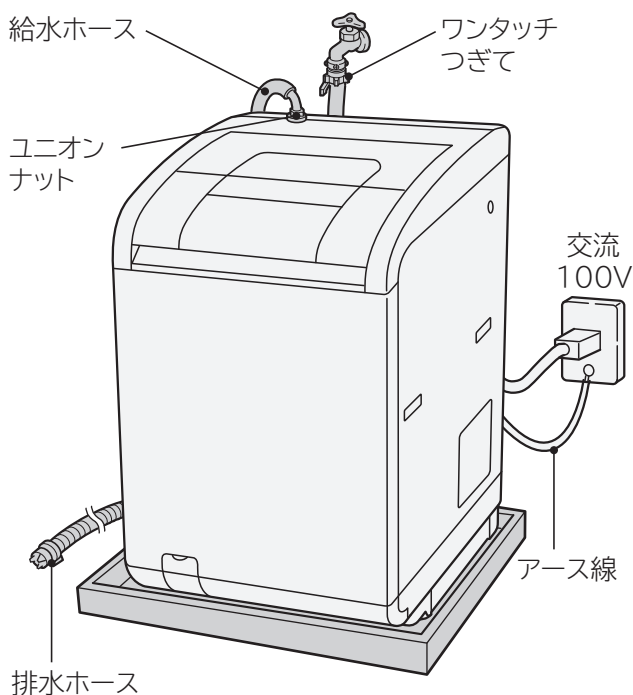
給水ホース

ワンタッチつぎて

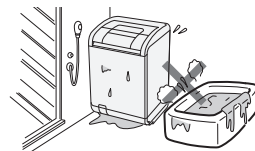
ユニオンナット

交流100V

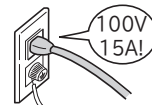
アース線

排水ホース

水場禁止

浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

感電や漏電による火災の恐れがあります。

電源

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

ほかの器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

注意

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

清掃

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

禁止

キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない

運転中の振動で移動したり、転倒する恐れがあります。

アース接続

アース線は取り付ける

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠注意

水漏れ

ワンタッチつぎてを使用し、つぎて Ⓑをしっかり締め付ける

●付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。

●長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

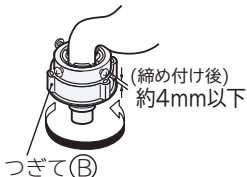
水漏れ

洗濯乾燥機を据え付けるときは、排水ホースのくびれた部分を本体の端に合わせる

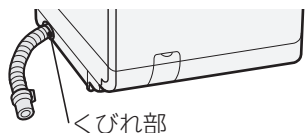
内部でたるんでいると、他の部品と接触し、ホースが破れて、水漏れして、思わぬ被害を招くことがあります。

くびれ部

給湯機からの温水は使用しない

瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。

水漏れ

据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとには、まず水栓を開いて水漏れがないか確認する

ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

水漏れ

給水ホースの本体接続のユニオンナットはしっかり締め付ける

●水漏れの原因になります。

●長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合にはさらに締め付けてください。

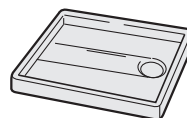
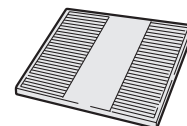
据え付け後や、断水後の水はねに注意

配管内の空気により、洗剤ケース部で水はねが発生する場合があります。据え付け後や給水ホースを外したあとなどは、洗剤量(目安)表示後ゆっくりと水栓をあけてください。

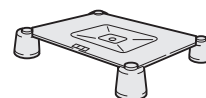
防水パン、洗濯機用トレー、全自動専用設置台について

■本体からの水漏れや夏季など湿度が高いときに、冷水などの使用で洗濯槽の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。

●床汚損防止のためにも、別売りの防水パン(TP-780)か、洗濯機用トレー(YT-1)の設置をおすすめします。

●防水パン使用時は、防水パンの排水にご注意ください。防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれたり感電する恐れがあります。

防水パン
(幅780×奥行640×高さ63mm)

洗濯機用トレー
(幅640×奥行640×高さ30mm)

■本体を高くする場合、および防水パンに入らない場合は別売りの全自動専用設置台(UP-D2)日立専用をご使用ください。

本体の下には回転部があり、本体を高くすると手足などが入りけがをするおそれがあります。全自動専用設置台をご使用ください。

全自動専用設置台

■キャスター付の設置台や側面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、けがをする恐れがあります。

防水パンへの設置について

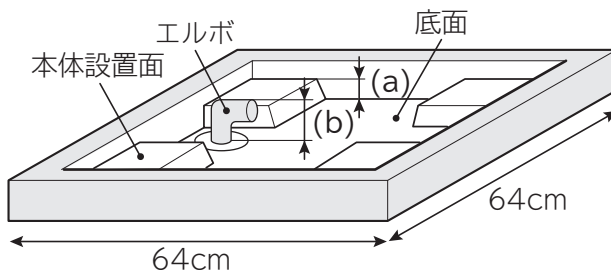
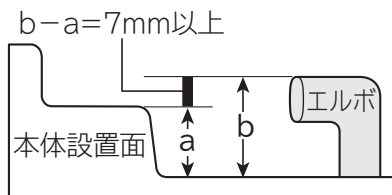
■内寸が幅64cm以上、奥行54cm以上、高さ8cm以内の防水パンに設置できます。(BL規格防水パン対応)

※排水口の位置によっては、別売りの「直下排水L形パイプ」HO-P5希望小売り価格1,050円(税込)が必要です。

※排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売りの「糸くずボックス」〈P.7〉の取り付けをおすすめします。

■四隅が高くなっている幅64cm×奥行64cm(外寸)の防水パンにもスッキリ設置できます。

※付属品のアンダートレイを取り付けてください。

エルボの高さ(b)が、本体設置面(a)より7mm以上の場合は、別売りの「640幅防水パン用直下排水キット」HO-P10希望小売価格840円(税込)をご使用ください。

洗濯機用防水パン

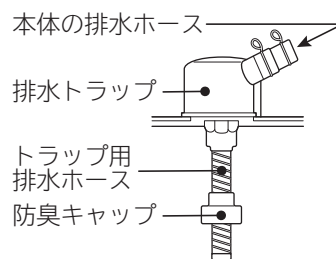
※P8の「本体の下に排水口がある場合」の据え付け方法に従ってください。

排水トラップの設置について

■乾燥時、排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつく場合があります。

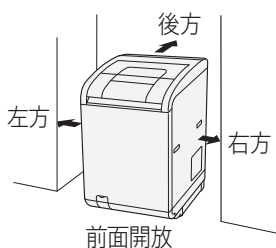
排水口からのにおいの吸い込みを防ぐために、「洗濯機用排水トラップ」YT-T1をご使用ください。
(本製品は、排水口からのにおい移りを防ぐために、排水ホースの出口高さを調節することができます〈P.6〉)

■排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。

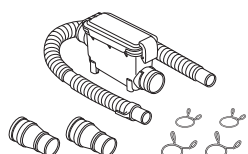
●据え付けにあたっては、「YT-T1」に同梱の取扱説明書に従ってください。
●据え付けにあたっては、設置条件をご確認ください。
(本体横に13cmの設置スペースが必要です)

希望小売価格4,200円(税込)

据え付け場所

■据え付けに必要な寸法を確認してください。

本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから下表の寸法以上離してください。
排水ホースの引出側は、9cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離(cm)
上方	50
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5
下方	0

※排水ホース側は9cm以上

※糸くずボックスを使用するときは、排水ホース側を15cm以上あけてください。

■しっかりした床に、水平に据え付けてください。

すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなることがあります。

しっかりした水平な床

弱い床

凸凹床

■直射日光が当る場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。

本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

■屋外など凍結の恐れのある場所には、据え付けないでください。

本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害をまねくことがあります。

■有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)を扱う場所では使用しないでください。

引火したり、プラスチック部品が故障する恐れがあります。

据え付けかた

■本体を水平に据え付けてください。

水平に据え付けないと、脱水時に停止したり、異常音の原因になります。

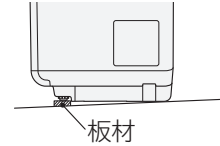
1 本体を設置場所に置く

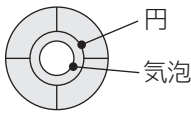
本体ががたつく場合は、次のように調節してください。

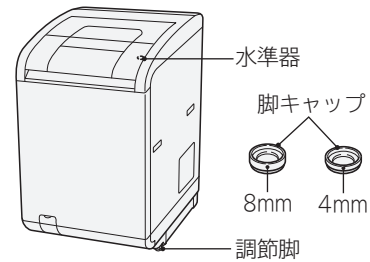
■調節脚側が、がたつく場合

調節脚を高くしてがたつきをなくしてください。

■調節脚の反対側が、がたつく場合

後ろ側の脚を床につけ、前側の脚と床面とのすき間に適当な板材などを敷いて、がたつきをなくしてください。

2 水準器の気泡の位置を確認する

●気泡が円の中に入っていれば脚の調節は必要ありません。

＊水準器は、真上から見てください。

●気泡が円の中に入っていない場合は、付属品の脚キャップで高さを調節してください。

■脚キャップについて

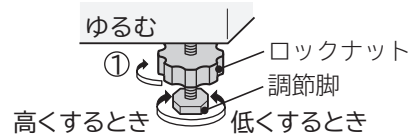
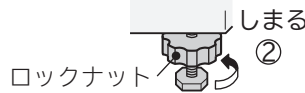
●付属品の脚キャップは、4mm、8mm用の2種類が、それぞれ2個ずつ同梱されています。必要に応じ、組み合わせて使用してください。

●組み合わせて使用するときは、高さの低い方を下にしてください。

●脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。

調節脚の使いかた

1 ロックナットを矢印方向 ①に回してゆるめ、調節脚を回してがたつきを調節する

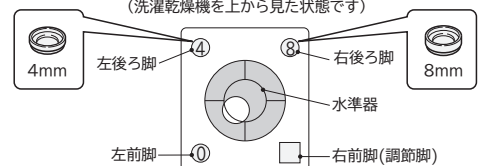
14mmまで高さ調節ができます。

2 調節が終わったら、ロックナットを矢印方向 ②に回して固定する

水準器の気泡位置と脚高さ調整方法の目安

気泡のはみ出し量 / 気泡の方向	調節例 円からはみ出している場合			
Ⓐ ほぼ縦・横線上	① 8mm 調節	② 8mm 調節	③ 8mm 8mm	④ 8mm 8mm
Ⓑ 斜め45°の方向	⑤ 4mm 8mm 調節	⑥ 4mm 4mm 調節	⑦ 4mm 8mm 調節	⑧ 8mm 4mm 4mm

■下表の見かた

（気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します）

（例）気泡が左前脚方向にはみ出している場合 ⇒ 調節例の⑤

（洗濯乾燥機を上から見た状態です）

⓪ 左 前 脚：そのまま
④ 左後ろ脚：4mmの脚キャップを取り付ける。
⑧ 右後ろ脚：8mmの脚キャップを取り付ける。
□ 右 前 脚：調節脚を回して調節する。

排水ホースのセットのしかた

⚠注意

据え付けるときは、排水ホースのくびれた部分をホース引出口に合わせる
内部でたるんでいると、ほかの部品と接触し、ホースが破れて、水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。

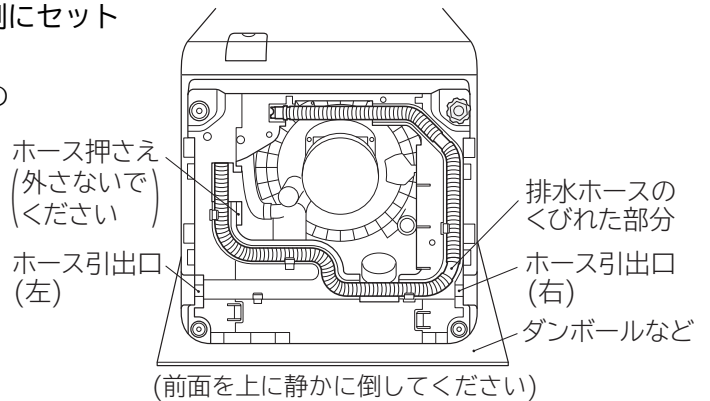
排水ホースの先端はしっかりと排水口へ入れる
排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

■排水ホースは、出荷時本体下部に固定されています。
排水口の位置に応じて、本体の左側、あるいは右側にセットしてください。

排水口の位置が本体の下にあるときは、P.8の「本体の下に排水口がある場合」をご覧ください。

1 本体を静かに後側へ倒す

本体を倒す場合、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。

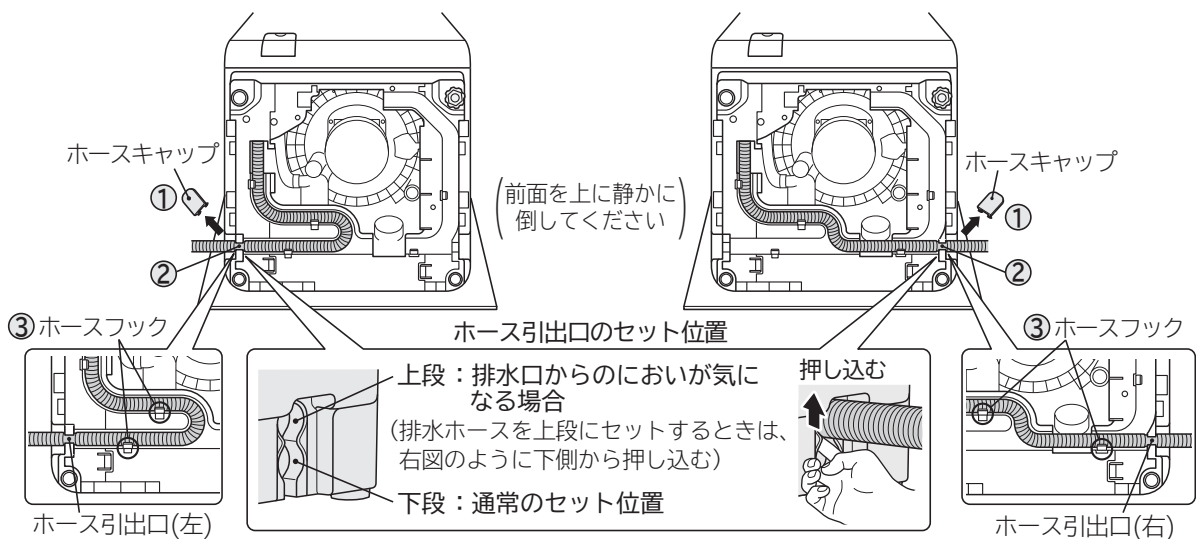
ご注意
本体内部の部品が、破損や故障する原因となりますので、静かに倒してください。

2 排水ホースを本体から取り外し、ホース引出口(右)、または(左)にセットする

① ホースキャップを外す(ホースキャップは不要です)

② 排水ホースのくびれた部分をホース引出口(上段または下段)にはめ込む

③ 排水ホースを溝にはめ込み、ホースフック(2か所)にセットする

④ 排水ホースが本体内部でねじれていないか確認する

ホース引出口(左)にセットする場合　　**ホース引出口(右)にセットする場合**

ご注意
●上段と下段の間に排水ホースを挟まないでください。
排水ホース内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れする恐れがあります。
●すでに床面に排水トラップを設置している場合は、下段(通常のセット位置)にてご使用ください。
上段にセットすると、排水できなかったり、水漏れする恐れがあります。

3 排水ホースの先端は、確実に排水口に差し込む

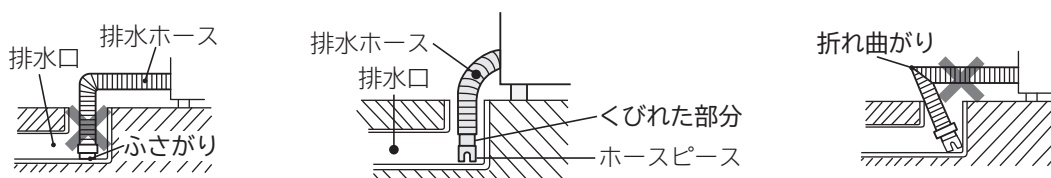
排水ホースのセットのしかた（続き）

排水ホースを排水口に差し込む場合

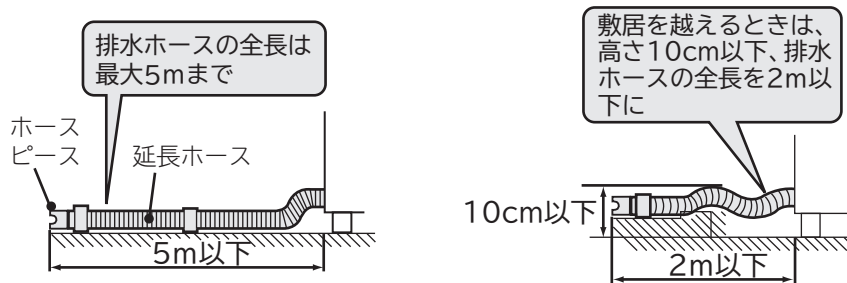
■排水ホースの先端がふさがってないか確認してください。
排水口が浅く、先端がぶつかっていると、排水が悪くなります。

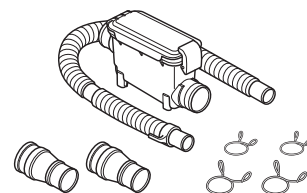
■排水ホースの先端に、ホースピースを付けてください。
排水ホースの長さを調節するときは、排水ホースのくびれた部分を切断し、ホースピースを付け替えてください。

■排水ホースは折れ曲がらないように差し込んでください。

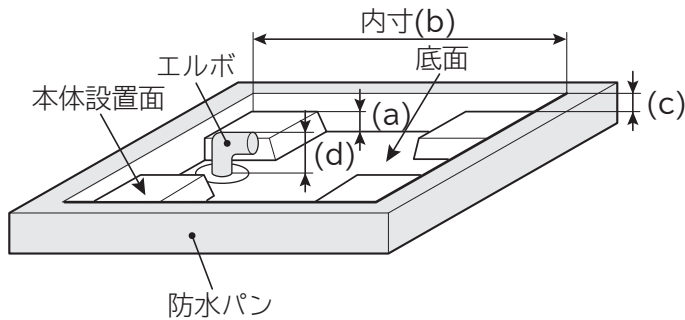
■排水ホース先端が、排水の力や振動などで抜けないよう、しっかり差し込んでください。

排水ホースの延長について

■排水ホースを延長するときは、別売りの延長ホースをご使用ください。
部品番号　KW-50K1-023(長さ約80cm)
希望小売価格 840円(税抜800円)

■排水ホースを延長するときは、排水性能が悪くならないように、次の点をお守りください。

- **●排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合は、ホースの全長を2m以下、ホースの高さを10cm以下とする。**
- ●10cmを超えると、排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります。
  また、異物トラップを外したときに、多量の水が漏れる場合があります。
- ●延長ホースをご使用になる場合、ホースの内径が小さいと排水性能が悪くなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- ●延長ホースを接続する際は、排水ホース先端に付いているホースピースを先に外してから、延長ホースを接続後、延長ホースの先端にホースピースを押し込んでください。
- ●排水トラップを設置している場合は、定期的にトラップ内を掃除するようにしてください。
  排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れする恐れがあります。

■排水口のお手入れ、掃除が困難な設置条件の場合には、別売りの糸くずボックスの設置をおすすめします。
- ●排水ホースに取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集めて取り除きます。
- ●排水トラップをご使用の場合は、あわせてご使用することをおすすめします。
  排水トラップの詰まりを防止することができます。

本体の下に排水口がある場合

1 設置条件

四隅が高くなっている640幅防水パンの場合

排水口のお手入れができない場合には、〈P.7〉の糸くずボックス(WLB-2)の取り付けをおすすめします。

■設置条件 ①

- ●設置面高さ(a)：32mm以上
- ●内寸(b)：610mm以上
- ●内寸(b)：575mm以上610mm未満で、設置面深さ(c)：10mm未満
- ●エルボと設置面の段差(d)－(a)：7mm未満

➡ P.9の「2 据え付け方法」に従って設置してください。

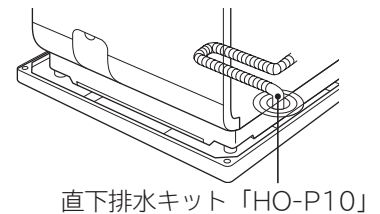
■設置条件 ②

- ●設置面高さ(a)：28mm以上
- ●内寸(b)：575mm以上で、設置面深さ(c)：14mm未満

➡ 別売りの直下排水キット「HO-P10」をご使用ください。

直下排水キット「HO-P10」

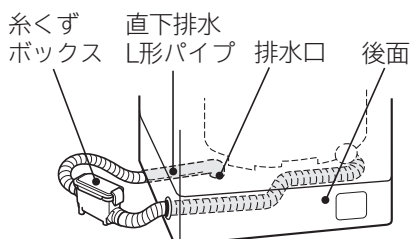
ご注意

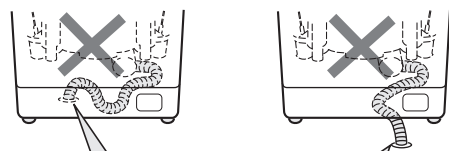
「HO-P10」の取扱説明書には、「適応機種：BW-DV8E」と記載されている場合がありますがご使用できます。
この場合、「HO-P10」に同梱の取扱説明書の「据え付け方法」① ～ ③ を、本書のP.9に記載の「2 据え付け方法」の **1** ～ **3** に置き換えて据え付けしてください。

■設置条件 ①、② 以外の場合は、本体を設置できません。

防水パンを設置していない場合や、幅が640mm以上の防水パンの場合

■本体の下に排水口がある場合

直下排水L形パイプ「HO-P5」をご使用ください。

「HO-P5」の据え付けは、「HO-P5」に同梱の取扱説明書に記載されている「後ろ開きタイプ(外枠ベース有)」の据え付け方法に従ってください。

⚠注意

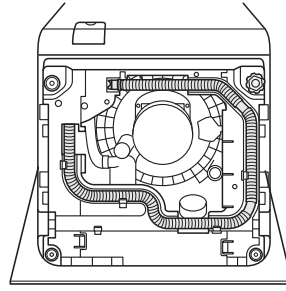
下図のような排水ホースの取り出しはしない
水漏れや異音の原因になります。

本体の下に排水口がある場合（続き）

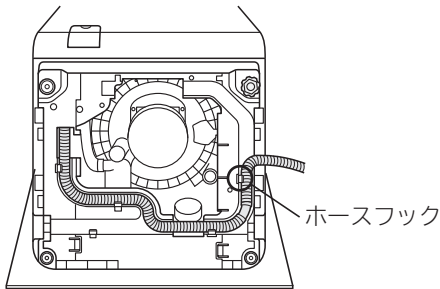
2 据え付け方法

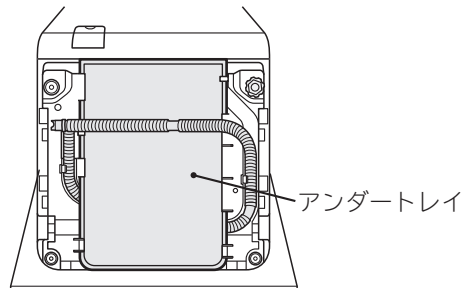
1 本体を静かに後側へ倒す

本体を倒す場合、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。

お願い

本体内部の部品が、破損や故障する原因となりますので、静かに倒してください。

(前面を上に静かに倒してください)

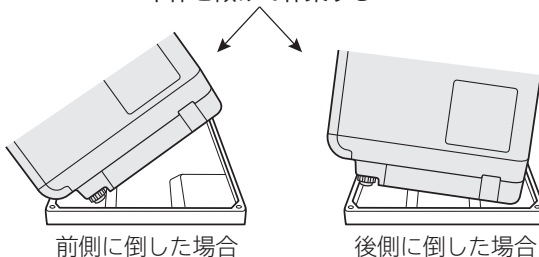
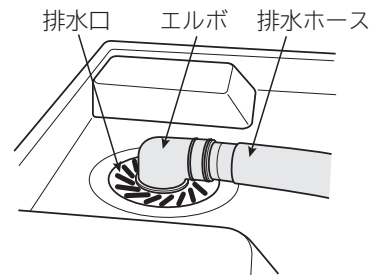
2 図のように、本体から排水ホースをホースフックまで取り出す

3 アンダートレイを取り付ける

P.12の「アンダートレイの取り付けかた」をご覧ください。

⚠注意

アンダートレイは取り付ける
アンダートレイを取り付けていないと、運転中に排水ホースが浮き上がり、ほかの部品と接触し、ホースが破れて水漏れするなど、思わぬ被害を招くことがあります。

4 本体を据え付ける

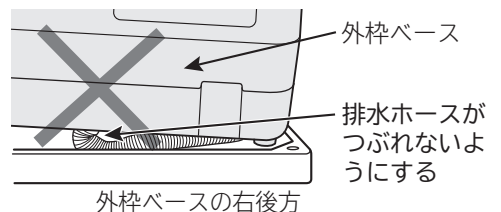
(1)本体を防水パンに据え付ける
エルボと排水ホースがつぶれないように注意してください。

(2)図のように本体を傾けて、排水ホースをエルボに差し込む

⚠注意

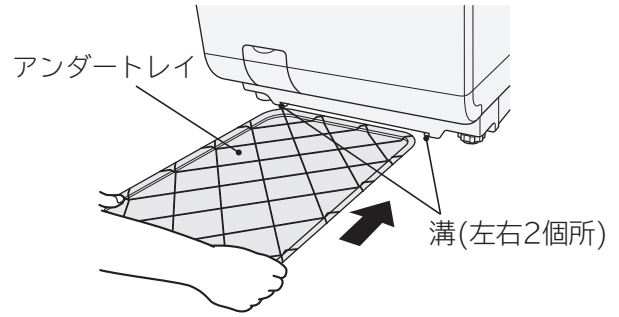
作業は、アンダートレイを取り付けた状態で行う
アンダートレイを取り付けていない状態で、本体の下に手を入れると、内部の部品と接触してけがの原因となります。

(3)排水ホースがつぶれたり、浮き上がりがないことを確認する
右後方に排水ホースを引き出した場合は、排水ホースがつぶれやすいので、確認してください。

⚠注意

排水ホースがつぶれた状態で使用すると、排水ホースが破れて水漏れの原因となります。

アンダートレイの取り付けかた

■**アンダートレイは、外槽の結露水が床面をぬらすのを防止することができますので、取り付けてください。**

アンダートレイを本体下部の溝（左右2個所）に合わせ、角が丸い方向から差し込む。

お願い

●アンダートレイは確実に左右の溝に挿入してください。溝から外れていると異常音の原因になります。

●アンダートレイが止まる位置まで確実に挿入してください。

アース線の取り付け

⚠警告

アース線は取り付ける

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

（電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています）

■**アース線は確実に取り付けてください。**

●万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。

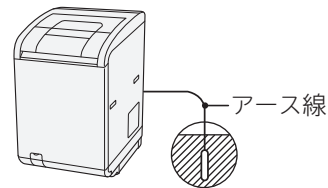
●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

●設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に確実に接続してください。

アース端子がない場合

アース工事をしてください。

ご注意

次のようなところには、アース線を接続しないでください。(法令などで禁止されています)

●ガス管、電話線、避雷針、水栓。

●水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源(コンセント)について

■**テーブルタップによるタコ足配線はしないでください。**

コードや配線器具の過熱の恐れがあります。

■**延長コードは使用しないでください。**

過熱の恐れがあります。

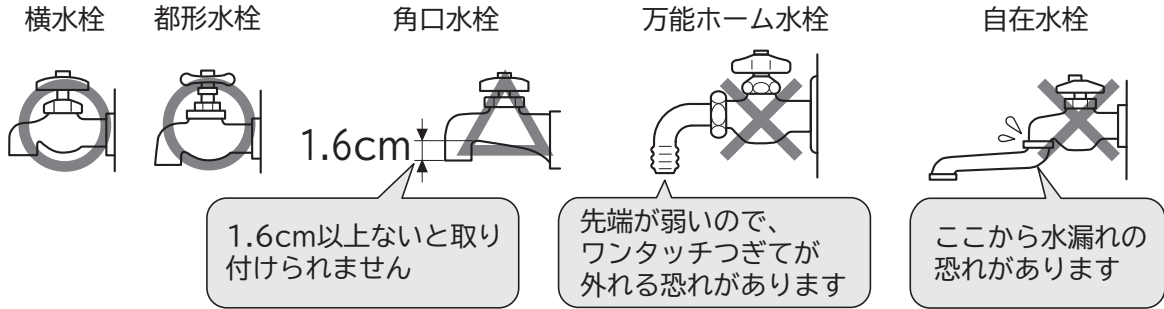
■**緩んだコンセントは使用しないでください。**

販売店または電気工事店にご相談のうえ、電気工事をしてください。

■**15A以上のコンセントを単独で使用しないと、ブレーカーが作動する恐れがありますので、ご注意ください。**

水栓について

ワンタッチつぎてを使用する場合

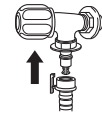
■横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用してください。
自在水栓は使用できません。

オートストッパー付水栓ジョイント用部品

※下記以外の給水栓および水栓は使用しないでください。つばがないと外れて水漏れする恐れがあります。
給水ホースが外れると、自動的に給水をストップし、水漏れを防止します。

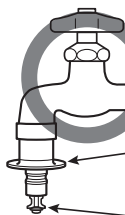
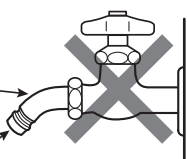
■全自動洗濯機用給水栓ノズル（オートストッパー付）

自在水栓の場合	万能ホーム水栓・全自動洗濯機用水栓の場合	カップリング付横水栓の場合
YSP-1A-S	YSP-L-S	YSP-1B-S
ノズル 給水ホース つば ノズル	万能ホーム水栓 全自動洗濯機用水栓 ノズル 給水ホース つば ノズル	ノズル 給水ホース つば ノズル

■全自動洗濯機用給水栓
(オートストッパー付)

YS80S

●自在水栓、混合水栓などの場合は、販売店または水道工事店にご相談ください。
●洗濯注湯システムには給水ホースを接続しないでください。

全自動洗濯機用水栓について

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)にも適合しない物があります。
ご使用になる場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓をご使用ください。
ご使用の水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。
ただし、つばのないものはご使用できません。
また、水栓接続部にさびや傷、異物があると、水漏れの原因になるためご使用できません。

※オートストッパー付きは、給水ホースが抜けると
自動的に給水が止まります。

左の2種類の水栓に給水ホースを接続した例

ワンタッチつぎての取り付けかた

⚠注意

ワンタッチつぎてを使用し、つぎてⒷをしっかり締め付ける

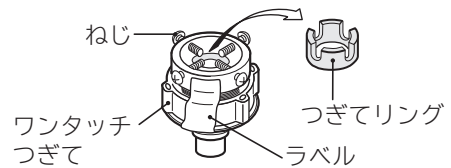
●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
(付属品以外のつぎてを使用すると、水漏れの原因になります)

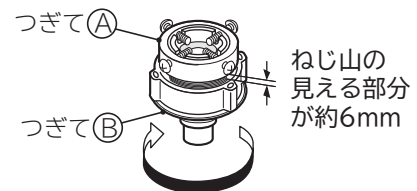
●長期のご使用でねじやつぎてが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

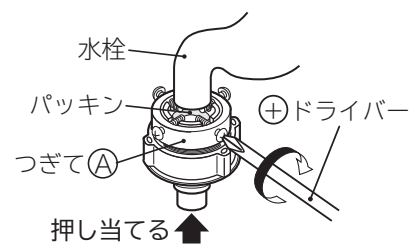
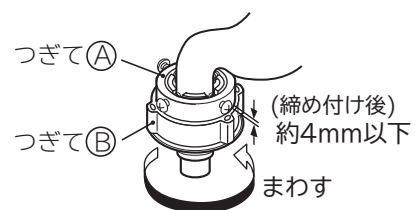
水栓およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする

振動により水漏れの原因になります。

1 水栓の直径を確認する

直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

2 つぎてⒶ、Ⓑとのすき間(6mm)を確認する

つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。

3 つぎてⒶのねじ4本を水栓の幅まで緩め、水栓先端に押し当てる

4 壁側になるねじを先に手で締め、水栓がパッキンの中心になるように、ねじを均等にしっかり締め付ける

5 つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を約4mm以下にする

●給水ホースの取り付けは、P.13の「給水ホースの取り付けかた」をご覧ください。

●長期間のご使用で、ねじやつぎてⒶ、Ⓑが緩んだりすると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
2～**5**の手順により取り付け直してください。
付け直しても水漏れするような場合には、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。
(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)

給水ホースの取り付けかた

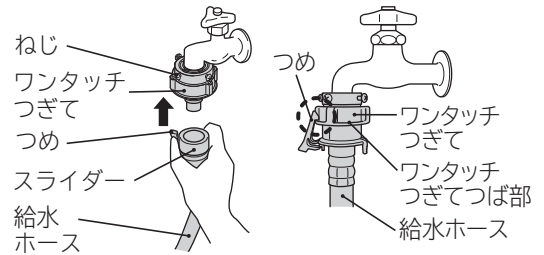
水栓と接続する

ねじ
ワンタッチつぎて
つめ
スライダー
給水ホース
つめ
ワンタッチつぎて
ワンタッチつぎてつば部
給水ホース

1 **スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む**

2 **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる**

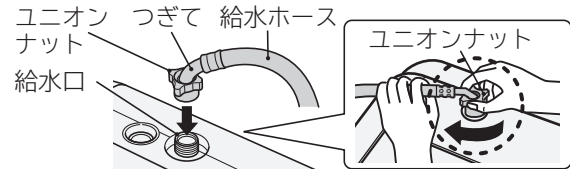
●給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのつば部に確実に掛かっていることを確認してください。

●給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。

本体と接続する

⚠注意

給水ホースの本体接続時は、ユニオンナットと給水ホースを一緒に矢印方向に回して、給水口にしっかり締め付ける

●ユニオンナット取り付け後に、つぎてのぐらつきやユニオンナットの緩みがないか確認してください。締め付けが十分でないと、水漏れの原因になります。

●長期のご使用でユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

給水ホースの外しかた

水栓から外す

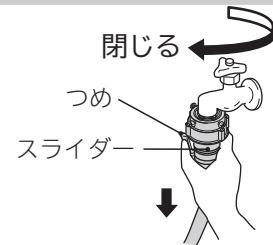
1 **水栓を閉じる**

2 **洗濯ボタンを押して「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約1分間運転する**

外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

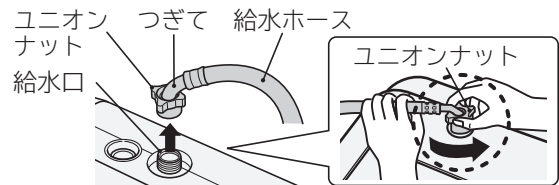
3 **つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す**

本体から外す

ユニオンナット
つぎて
給水ホース
給水口
ユニオンナット

1 **水栓を閉じる**

2 **洗濯ボタンを押して「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約1分間運転する**

外すときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 **ユニオンナットを矢印方向に回して外します。**

●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。

●長期のご使用でねじ、ワンタッチつぎてやユニオンナットが緩んだりすると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

●ねじやワンタッチつぎてをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。

給水ホース関連部品

■給水ホースを延長するとき

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

延長作業(有料)は、販売店にご依頼ください。

■本体と水栓の距離が近いとき

短い給水ホース(0.5m)をご使用ください。
部品番号　NW-6SD-031

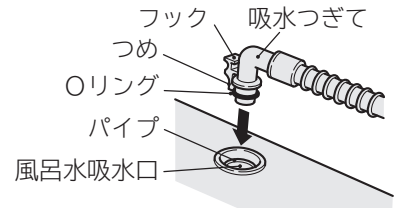
お湯取ホースのセットのしかた

■ご使用になる前にお湯取ホースにAg除菌お湯取ユニットを取り付けてください。
■付属品のお湯取ホースは約4mです。本体と浴槽の距離に合わせて切断してご使用ください。
吸水中は水の重さによりホースが垂れ下がりますので、長めに切断するようにしてください。
(効率よく風呂水を吸水するためです)

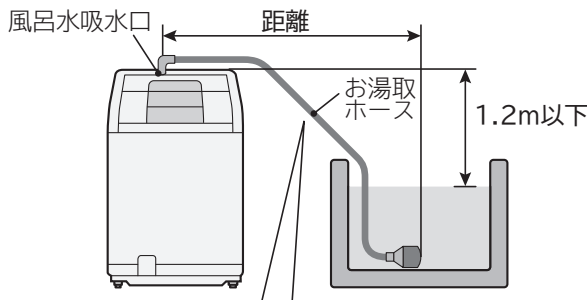
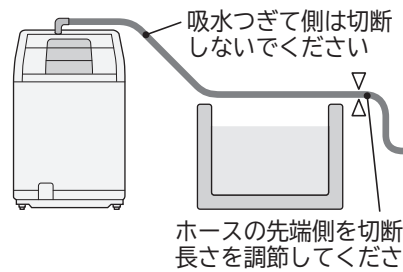
お湯取ホースの長さ調節

1 **風呂水吸水口のシールを取る**

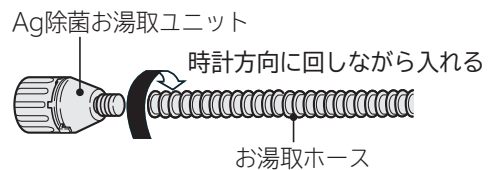
2 **お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける**
●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
●入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
Oリングを外したり傷つけないでください。
外すと空気が入り込み、吸水できなくなります。

フック
吸水つぎて
つめ
Oリング
パイプ
風呂水吸水口

3 **ホースの先端を浴槽に入れ、ホースの長さを調節する**（付属のお湯取ホースは約4mです）
風呂水吸水口からAg除菌お湯取ユニットまでの距離が3m以内になるように、ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

別売り部品の場合

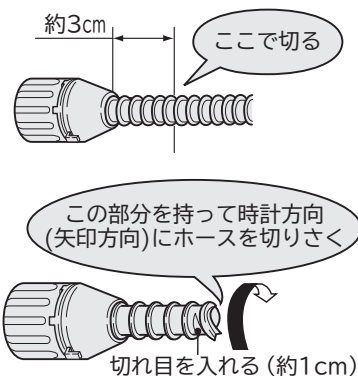
お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内

吸水中は、水の重さによりホースが垂れ下がり、Ag除菌お湯取ユニットが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。

※付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売りのお湯取ホースをご利用ください。
・約7mホース
部品番号 NW-7P5-045
希望小売価格 1,890円(税込)
・約5mホース
部品番号 NW-7P5-046
希望小売価格 1,785円(税込)

4 **Ag除菌お湯取ユニットをお湯取ホースに取り付ける**
●ホースを時計方向に回しながら入れます。
ホースの内側に水をつけると入れやすくなります。
●Ag除菌お湯取ユニット内のAgビーズが割れていないことを確認してください。
浴槽の底面などに流れ出す恐れがあります。

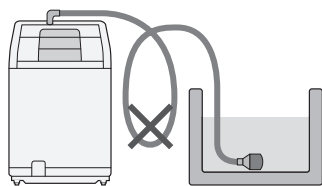
Ag除菌お湯取ユニット
時計方向に回しながら入れる
お湯取ホース

Ag除菌お湯取ユニットの取り外しかた

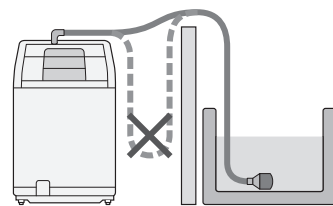
Ag除菌お湯取ユニットは、一度取り付けると手で簡単に外せません。ホースの長さ調節のために、Ag除菌お湯取ユニットを取り外すときは、次に従ってください。

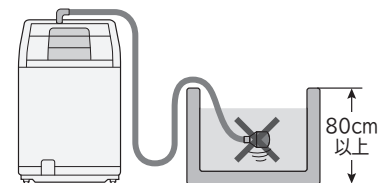
1 **ホースを切断する**
Ag除菌お湯取ユニットの根元から約3cmの所でホースを切断します。

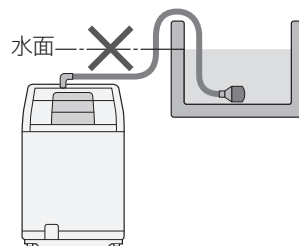
2 **Ag除菌お湯取ユニットに付いているホースを取り除く**
ホースの先端に約1cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらホースを取り除きます。

お湯取ホースセット時のご注意

お湯取ホースは巻いたまま使用しない

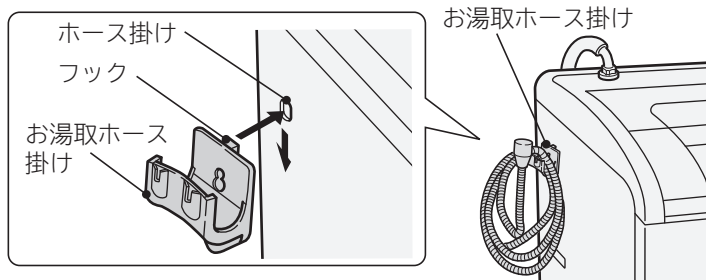
ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす

ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。

Ag除菌お湯取ユニットの浮き上がりに注意する

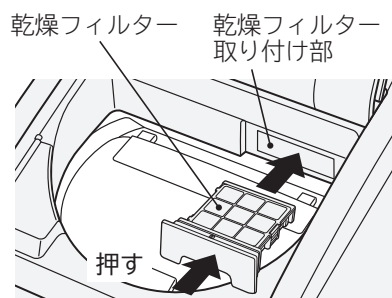
浴槽の高さが床面から80cm以上の場合は、垂れ下がったホースの重みで、Ag除菌お湯取ユニットが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。

風呂水吸水口よりも浴槽の水面のほうが高い場所では使用しない

サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が止まらず、水漏れの原因になります。

お湯取ホース掛けの使いかた

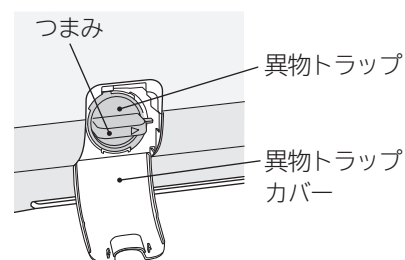
■お湯取ホース掛けのセットのしかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて止まるまで押し下げてください。

乾燥フィルターの取り付けかた

■付属品の乾燥フィルターを、乾燥フィルター取り付け部に確実に奥まで差し込んでください。

乾燥フィルターの前面全体を押して、カチッと音がするまで押し込みます。
取り付けが不十分な場合、スタートボタンを押したとき「C15」が表示され、運転できません。

異物トラップについて

■異物トラップが正しくセットされているか確認してください。

電源を入れたとき、「C16」の表示が点灯した場合は、正しくセットされていません。
異物トラップカバーを開き、つまみを止まるまで右側に回してください。
詳しくは取扱説明書のお手入れ「異物トラップ」をご覧ください。

試運転

設置後は試運転を行い、異常音、ホース取り付け部からの水漏れや、排水ホース先端が抜け出していないかなどをご確認ください。

1 電源を入れ、洗濯を押し、「標準」コースを選ぶ

2 洗い「3分」、脱水「1分」を選び、スタート一時停止を押す

ご注意 お湯取設定が解除されていることを確認してください。
(工場出荷時は設定されていません)

3 洗剤量が表示されたら、水栓をゆっくりと開ける

4 水漏れや異常音がないことを確認する

5 運転が終了したら入を押す

6 乾燥を押し、スタート一時停止を押す

7 10分以上運転し、水漏れや異常音がないことを確認する

8 スタート一時停止を押し、切を押す

⚠注意

給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

■試運転は、水道水で運転を行ったあと、風呂水で運転を行ってください。
このとき、風呂水が吸水されているかご確認ください。
■お湯取の設定が解除されていることを確認してください。
(工場出荷時は設定されていません)

⚠注意

お洗濯前に、水栓を開いて水漏れがないか確認する
ねじがゆるんだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯乾燥機据え付け後や移設後など、水栓接続を変えたあとや洗濯・乾燥前は、水栓を開いて水漏れがないか確認する
接続部が緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
また、長期間使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れする恐れがあります。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-N0843-1D
B2(S)